

みんなで支える 長寿のよろこび

～平成23年度東通村敬老会～

9月21日(水)、村体育館において、平成23年度東通村敬老会が行われました。

当日は、75歳以上の対象者1269名のうち436名が出席し、多くの来賓、幼稚園・児童館の子ども達、保健協力員の方などから健康と長寿が祝福されました。

はじめに、越善靖夫村長から「東通村の今日までの発展は、先人の方々のおかげと、皆さんが永年にわたり村づくりに尽くしてくださった賜物です。いつまでもご健康で、東通村発展のため末永くご指導ください」と挨拶が述べられた後、米寿夫婦(88歳を迎えられた長寿夫婦)3組に青森県知事表彰が、卒寿(90歳)25名と傘寿夫婦(80歳を迎えられた夫婦)21組に東通村長表彰が行われました。

その後、関谷道夫下北地域県民局地域健康福祉部長、小笠原清春村議会議長の祝辞に続き、相内亀村老人クラブ連合会長の乾杯で祝宴に入りました。祝宴に入ると、久しぶりの再

会と健康を祝いながらお酒を酌み交わし、旧友たちと楽しそうに団らんする姿が各席で見られました。

また、幼稚園・児童館などのアトラクションが始まると、会場は歓声と笑顔でいっぱいとなり、お孫さんなどが登場すると、ステージにかけより、お花をあげたり手を振ったりする姿も見られました。

祝宴の最後となる「おしまこ」では、多くの方々が踊りの輪に入り、華麗な手さばきを披露しました。参加者たちは、曲が流れるたびに元気に踊り続け、最後まで盛況のままに敬老会は幕を閉じました。



越善村長による挨拶



祝辞を述べる小笠原議長



乾杯の発声をする相内会長



会場を盛り上げたアトラクション



笑顔と踊りの輪を作った「おしまこ」



まあまあ一杯どうぞ